

IoT 集配加工マネージドサービス利用ガイド (導入編)

2019年5月9日 初版

日本電気株式会社

CPF-WOT-MNG-SVC-19-004



改版履歴

版数	日付	改版内容
1.0	2019年5月9日	新規作成

目次

1	はじめに.....	4
1.1	ご利用までの流れ.....	4
2	IoT 集配加工マネージドサービスの契約・解約.....	5
2.1	前提条件.....	5
2.2	新規契約申請.....	5
2.2.1	前提条件.....	5
2.2.2	手順.....	5
2.3	変更申請.....	6
2.3.1	前提条件.....	6
2.4	解約申請.....	6
2.4.1	前提条件.....	6
2.4.2	手順.....	6
3	サービス運用画面による設定.....	8
3.1	前提条件.....	8
3.2	各機能利用時の大まかな流れ.....	8
3.2.1	デバイスデータの蓄積.....	8
3.2.2	デバイスデータの転送.....	8
3.3	サービスの利用設定.....	9
3.3.1	ログイン.....	9
3.3.2	ユーザ管理.....	9
3.3.3	デバイスの管理.....	10
3.3.4	デバイスタイプの管理.....	11
3.3.5	データ保存先の作成.....	12
3.3.6	外部転送の設定.....	13

1 はじめに

本書は、IoT 集配加工マネージドサービス (以降、本サービス)を利用するための設定手順を記載したガイドです。IoT 集配加工マネージドサービスの概要を把握するために事前に「CPF-WOT-MNG-SVC-19-002 IoT 集配加工マネージドサービス 利用ガイド (概要編)」を一読してください。

本サービスの詳細については、「CPF-WOT-MNG-SVC-19-001 サービス仕様書」をご確認ください。また、本サービスを利用するデバイスに配備するアプリケーションおよび Web アプリケーションの開発の際には、「CPF-WOT-MNG-SVC-19-003 利用ガイド (開発編)」をご確認ください。

1.1 ご利用までの流れ

サービス申し込みからデータ収集ができるようになるまでの流れは以下のとおりです。

1. ご契約者様によるサービス申し込み ⇒ 2.2 を参照
2. サービス利用の環境設定 ⇒ 3.3 を参照

2 IoT 集配加工マネージドサービスの契約・解約

本章は、IoT 集配加工マネージドサービスの契約・解約を行うための IoT 集配加工マネージドサービスポータルの利用手順を示します。

2.1 前提条件

本章の手順を実施する前に、IoT 集配加工マネージドサービスポータル（以降、DA2 サービスポータル）の利用のための申請が必要です。IoT 集配加工マネージドサービスポータルは NEC Cloud Services ポータル 内で提供されます。DA2 サービスポータルへの登録申請の流れについては「NEC Cloud Services ポータル 利用ガイド」を参照ください。

2.2 新規契約申請

本節は本サービスの新規契約申込みから初期設定を行うまでの手順について説明します。

本手順が完了するとサービス運用画面および API が利用可能になります。

2.2.1 前提条件

本手順は以下を前提としています。

- ・ 本サービスを契約していない NEC Cloud Services ポータルのテナントをお持ちであること

2.2.2 手順

1. NEC Cloud Services ポータルにログインします。
2. メニュー「ダッシュボード」のページの「プラットフォーム」 - 「IoT 集配加工マネージドサービス」を選択します。
3. メニュー「管理」 - 「契約」を選択します。
4. 「+申請」ボタンを押下します。
5. 契約入力画面が表示されますので、申し込みを行う基本メニューの「変更分」入力欄の入力値を 0 から 1 に変更し、申請ボタンを押下します。
6. 確認画面が表示されますので、入力内容の確認と約款の内容を確認し、約款に同意する場合はチェックボックスを ON にし、申請ボタンを押下します。
7. 承認可能なユーザでログインします。
8. メニュー「ダッシュボード」のページの「プラットフォーム」 - 「IoT 集配加工マネージドサービス」を選択します。
9. メニュー「管理」 - 「申請状況」を選択します。

10. 申請内容を確認し、問題がなければ承認ボタンを押下します。
11. 新規契約申込み後に初期設定 URL のメール通知が送付されます
12. 初期設定 URL 先の設定画面でホスト名を設定します。
13. 環境構築が完了すると本サービスからサービス運用画面のアクセス情報(URL、アカウント)の通知が送付されます。

2.3 変更申請

本サービスの契約内容の変更申込みの際は、NEC Cloud Services ポータルのお問い合わせメニューからサービスの事業者へ問い合わせください。

2.3.1 前提条件

本手順は以下を前提としています。

- ・IoT 集配加工マネージドサービスを契約していること
- ・サービス事業者へメニュー変更の連絡が済んでいること

2.4 解約申請

本節は本サービスの解約申込みを行う手順について説明します。

2.4.1 前提条件

本手順は以下を前提としています。

- ・本サービスを契約している NEC Cloud Services ポータルのテナントをお持ちであること

2.4.2 手順

1. NEC Cloud Services ポータルにログインします。
2. メニュー「ダッシュボード」のページの「プラットフォーム」 - 「IoT 集配加工マネージドサービス」を選択します。
3. メニュー「管理」 - 「契約」を選択します。
4. 「+申請」ボタンを押下します。
5. 契約入力画面が表示されますので、申し込みを行う基本メニューの「変更分」入力欄の入力値を 1 から 0 に変更し、申請ボタンを押下します。
6. 確認画面が表示されますので、入力内容の確認し、申請ボタンを押下します。
7. 承認可能なユーザでログインします。

8. メニュー「ダッシュボード」のページの「プラットフォーム」 - 「IoT 集配加工マネージドサービス」を選択します。
9. メニュー「管理」 - 「申請状況」を選択します。
10. 申請内容を確認し、問題がなければ承認ボタンを押下します。

3 サービス運用画面による設定

本章は、IoT 集配加工マネージドサービスの API を利用するためのサービス運用画面による設定手順を示します。サービス運用画面は環境構築完了通知に記載されている URL からアクセスしてください。

3.1 前提条件

本章は以下を前提としています。

- ・本サービスを契約済であること
- ・初期設定が完了していること

3.2 各機能利用時の大まかな流れ

3.2.1 デバイスデータの蓄積

本章は、本サービスにデータを蓄積するための流れについて説明します。

デバイスデータを蓄積する場合の流れを下記に示します。

1. 共通設定を行います
 - 1-1. ユーザアカウントおよびデバイスアカウントを作成します
 - 1-2. デバイスアカウントを作成します
 - 1-3. デバイスタイプを登録します
2. 蓄積に関する設定を行います
 - 2-1. データ保存先を作成します
 - 2-2. サービス連携設定を行います

3.2.2 デバイスデータの転送

本章は、本サービスにデータを蓄積するための流れについて説明します。

デバイスデータを蓄積する場合の流れを下記に示します。

1. ユーザアカウントおよびデバイスアカウントを作成します
2. デバイスアカウントを作成します
3. デバイスタイプを登録します
4. データ保存先を作成します
5. サービス連携設定を行います

3.3 サービスの利用設定

3.3.1 ログイン

環境構築の完了通知に記載の URL からログイン画面にアクセスし、ID およびパスワードを入力し、ログインします。

3.3.2 ユーザ管理

本機能は、以下の2つのユーザアカウントの登録・削除を行うことができます。

- ・ サービス運用画面を利用するためのアカウント
- ・ API を利用するユーザのアカウント

3.3.2.1 ユーザアカウントの登録

1. ユーザー一覧メニューを選択します。
2. ユーザー一覧画面の「ユーザを追加」ボタンを押下します。
3. 下記に記載のユーザアカウント情報の設定項目を入力し、更新ボタンを押下します。

ユーザアカウント情報の設定項目

ユーザ名	ユーザの ID を設定します。
パスワード	パスワードを設定します。
パスワード(確認)	パスワードの確認用入力項目です。「パスワード」の入力値と値が一致している必要があります。
管理者として登録	サービス運用画面を利用可能なアカウントを登録する場合に、チェックを入れます。

3.3.2.2 ユーザアカウント情報の更新

1. ユーザー一覧メニューを選択します。
2. ユーザー一覧画面に表示されている登録済のユーザ ID の中から更新したい ID を選択します。
3. 「パスワード」、「パスワード(確認)」を入力し、更新ボタンを押下します。
 - ※「クライアント ID」は変更できません。変更する場合は、デバイス情報を削除し、新たに登録してください。

3.3.2.3 ユーザアカウントの削除

1. ユーザー一覧メニューを選択します。

2. ユーザー一覧画面に表示されている登録済のユーザ名の中から削除したいユーザのチェックボックスを ON にします。
3. ユーザー一覧画面の「ユーザの削除」ボタンを押下します。

3.3.3 デバイスの管理

本機能は、以下の2つのデバイスの登録・削除を行うことができます。

- ・デバイスデータの受信 API を利用するためのアカウント

3.3.3.1 デバイスの登録

1. デバイス一覧メニューを選択します。
2. デバイス一覧画面の「デバイスを追加」ボタンを押下します。
3. 下記に記載のデバイスアカウント情報の設定項目を入力し、更新ボタンを押下します。

デバイスアカウント情報の設定項目

クライアント ID	デバイスの ID を設定します。
パスワード	パスワードを設定します。
パスワード(確認)	パスワードの確認用入力項目です。「パスワード」の入力値と値が一致している必要があります。

3.3.3.2 デバイス情報の更新

1. デバイス一覧メニューを選択します。
2. デバイス一覧画面に表示されている登録済のクライアント ID の中から更新したい ID を選択します。
3. 「パスワード」、「パスワード(確認)」を入力し、更新ボタンを押下します。
※「クライアント ID」は変更できません。変更する場合は、デバイス情報を削除し、新たに登録してください。

3.3.3.3 デバイス情報の削除

1. デバイス一覧メニューを選択します。
2. デバイス一覧画面に表示されている登録済のクライアント ID の中から削除したい ID のチェックボックスを ON にします。
3. デバイス一覧画面の「デバイスの削除」ボタンを押下します。

3.3.4 デバイスタイプの管理

3.3.4.1 デバイスタイプの登録

1. デバイスタイプ一覧メニューを選択します。
2. デバイスタイプ一覧画面の「デバイスタイプを追加」ボタンを押下します。
3. 下記に記載のデバイスタイプの設定項目を入力し、更新ボタンを押下します。

デバイスタイプ情報の設定項目

デバイスタイプ名	デバイスタイプの設定名を設定します。
クエリ検索用型登録	後述のクエリ検索用型登録の補足の内容を参考にクエリに指定するプロパティの型情報(プロパティ名、エイリアス名、型名)を登録します。 クエリで利用するプロパティの数分設定を行います。
イベントパススルー	Cache 型デバイスタイプの場合はチェックを外します。 イベントパススルー型デバイスタイプの場合はチェックを外します。

クエリ検索用型登録の補足

以下の JSON の sample プロパティを条件としたクエリ検索を行う場合を例に、設定方法を説明します。デバイスデータの検索機能を実行するには、クエリの条件に指定する利用するプロパティ名、型名、エイリアス名の設定が必要です。プロパティは直接名前を指定せず、本設定項目に設定したエイリアス名を用います。

```
{
  attributes: {
    reported: {
      sample: 100
    }
  }
}
```

・プロパティの設定項目

JSON の階層構造は“.”で区切って表現します。sample を指定する場合は「attributes.reported.sample」を設定します。

・型の設定項目

「Long」、「Double」、「String」、「Boolean」の中から選択します。sample は整数値なので「Long」を指定します。

・エイリアス名の設定項目

クエリに指定するエイリアス名として「data」を設定します。下記が「data」を用いたクエリの例です。

```
select * from {デバイスタイプ名} where data >= 0
```

3.3.4.2 デバイスタイプ情報の更新

デバイスタイプ情報は更新ができません。削除後に新規登録を行ってください。

3.3.4.3 デバイスタイプの削除

1. デバイスタイプ一覧メニューを選択します。
2. デバイスタイプ一覧画面に表示されている登録済のデバイス名の中から削除したいデバイスタイプのチェックボックスを ON にします。
3. デバイスタイプ一覧画面の「デバイスタイプの削除」ボタンを押下します。

3.3.5 データ保存先の作成

3.3.5.1 データ保存先の登録

1. データ保存先一覧メニューを選択します。
2. データ保存先一覧画面の「データ保存先を追加」ボタンを押下します。
3. 下記に記載のデータ保存先の設定項目を入力し、更新ボタンを押下します。

データ保存先情報の設定項目

データ保存先名	データ保存先の設定名を設定します。
保存データの型	保存データ型を設定します。現在、選択可能な型は「object」のみです。

3.3.5.2 データ保存先の更新

データ保存先情報は更新ができません。追加と削除を行ってください。

3.3.5.3 データ保存先の削除

1. データ保存先一覧メニューを選択します。
2. データ保存先一覧画面に表示されている登録済のデータ保存先名の中から削除したいデータ保存先のチェックボックスを ON にします。
3. データ保存先一覧画面の「データ保存先の削除」ボタンを押下します。

3.3.6 外部転送の設定

3.3.6.1 サービス連携の登録

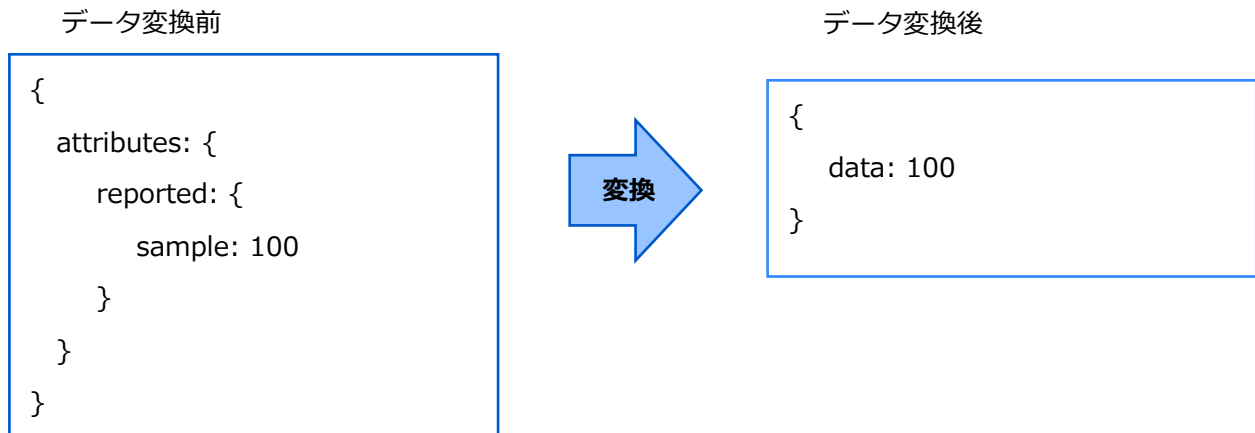
1. サービス連携一覧メニューを選択します。
2. サービス連携一覧画面の「サービス連携を追加」ボタンを押下します。
3. 下記に記載のサービス連携先名の設定項目を入力し、更新ボタンを押下します。

サービス連携情報の設定項目

識別名	サービス連携設定の識別名を設定します。
連携先サービス	蓄積機能を有効にする場合は「内部 DB」を選択してください 外部サービス転送機能を有効にする場合は「外部サービス(HTTP API 転送)」を選択してください
全てのデバイスタイプを対象にする	サービス連携を全デバイスタイプに対して有効にする場合はチェックを入れてください。 特定のデバイスタイプに対して有効にする場合はチェックを外します。チェックが外れている場合、デバイスタイプの一覧が表示されますので対象とするデバイスタイプを表の中から選択してください(複数選択可)。
クライアントレイヤフィルター	蓄積・転送機能では、デバイスアプリケーション・Web アプリケーションの送信データをフィルタリングすることができます。 ・全てのデータを利用する場合は「なし」を選択します。 ・Web アプリケーションからのデータを除外し、デバイスアプリケーションのデータのみを置換・転送の対象とする場合は「L3」を選択します。 ・デバイスアプリケーションからのデータを除外し、Web アプリケーションのデータのみを置換・転送の対象とする場合は「L5」を選択します。
JSON 変換ルール	JSON のフォーマット変換の設定を行います。変換ルールを追加する場合、「ルールの追加」ボタンを押下します。 「変換後のプロパティ」・「設定値」を設定します。詳細は後述の JSON 変換ルールの補足でご確認ください。
データ保存先設定名	設定したデータ保存先設定の設定名を指定します

JSON 変換ルールの補足

下記のようにデータ変換前の構造の sample プロパティのデータを data プロパティに変換する例で説明します。



「設定値」には、変換対象となるプロパティ名を、階層情報を含めて設定します。JSON の階層構造は"."で区切って表現します。sample を指定する場合は「attributes.reported.sample」を設定します。

「変換後のプロパティ」には、変換後に設定するプロパティ名を階層情報を含めて設定します。JSON の階層構造は"."で区切って表現します。data を指定する場合は「data」を設定します。

3.3.6.2 サービス連携の更新

デバイスタイプ情報は更新ができません。追加と削除を行ってください。

3.3.6.3 サービス連携の削除

1. サービス連携一覧メニューを選択します。
2. サービス連携一覧画面に表示されている登録済のサービス連携名の中から削除したいデータ保存先のチェックボックスを ON にします。
3. サービス連携一覧画面の「サービス連携の削除」ボタンを押下します。

IoT 集配加工マネージドサービス 利用ガイド(導入編)

© NEC Corporation 2019
2019年 5月
日本電気株式会社

(禁無断複製)